

「RAS-BRAF 遺伝子変異解析」 適用拡大のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、標記項目につきましては、RAS (KRASおよびNRAS) 遺伝子変異に対して、結腸・直腸癌患者へのセツキシマブまたはパニツムマブのコンパニオン診断薬として適用されています。

この度、コンパニオン診断薬としての適用拡大がなされ、がん化学療法後に増悪した BRAF 遺伝子変異を有する治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌に対し、エンコラフェニブおよびセツキシマブの2剤併用療法、エンコラフェニブ、ビニメチニブおよびセツキシマブとの3剤併用療法の適応を判定する際の補助を目的とした BRAF 遺伝子変異を検出するコンパニオン診断薬としても検査が可能となりました。

取り急ぎご案内いたしますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目

- [1251] RAS-BRAF 遺伝子変異解析

■追加された使用目的

癌組織から抽出したゲノム DNA 中の BRAF 遺伝子変異 (V600E) の検出 (エンコラフェニブおよびセツキシマブの併用療法、またはエンコラフェニブ、ビニメチニブおよびセツキシマブの併用療法の結腸・直腸癌患者への適応判定の補助)

■適用開始日

- 2020年11月20日(金)検査分より

以上